

デジタルを活用した再就労等を目指す女性のための スキルアップ講座の実施(女性活躍推進事業)【芦屋市】

個別事業費	58 千円
交付金額	24 千円

地域の実情と課題

本市の総人口は減少傾向であり、年少人口（0～14歳）は年々減少し、令和5年3月末では人口の約11.9%となっている。本市では社会環境の変化に応じた就学前教育・保育施設の整備や子どもたちが放課後などを安全・安心に過ごせる居場所づくりなど仕事と子育てを両立できる環境整備を進めているが、令和3年実施の芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査により、希望に応じた働き方の実現や、能力が十分に発揮できる環境の整備が課題であることがわかった。

事業の特徴

デジタルを活用した再就労・就業・起業等を目指す女性のために、必要なスキルアップに関するパソコン講座・Instagram活用講座を芦屋市商工会・地域経済振興課と共催で実施し、ハローワーク西宮や日本政策金融公庫などの相談にもつなげた。

事業の効果

受講者の満足度は高く、今後の活動に活用できそうであるとのお声が多くあった。学んだことを活かして起業・就労したかたや準備されている方が複数あり、一定の成果はあった。

目的・目標

受講者数の目標を15人以上としていたところ、受講者は33人（パソコン講座14人、Instagram講座19人）で目標を達成した。（申込者はいずれも定員を上回り、Instagram講座は定員の3倍の申込だった。）また、事後アンケートより、デジタルを活用して再就労した、または概ね1年以内に再就労などの予定と回答した女性は3人で、目標（目標値2人以上）を達成した。

連携団体

芦屋市商工会、芦屋市地域経済振興課、ひょうご仕事と生活センター、兵庫県女性活躍推進センター、近隣各市の男女共同参画センター、ハローワーク西宮、日本政策金融公庫等

今後の課題

受講者間でデジタル活用のスキルに差が見受けられ、一律に受講者の理解度を深めることが困難であったが、講師のおかげもあって非常に満足度の高い事業であった。今後はより起業・就労に向けてを意識した内容で開催したい。

事業の概要

